

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第66期第3四半期(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
【会社名】	協同飼料株式会社
【英訳名】	KYODO SHIRYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 林 泰 正
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区高島二丁目5番12号
【電話番号】	横浜 045(461)5711
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 大 友 彰
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区高島二丁目5番12号
【電話番号】	横浜 045(461)5711
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 大 友 彰
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年2月10日に提出いたしました第66期第3四半期（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

（2）財政状態の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（金融商品関係）

（1 株当たり情報）

1. 1 株当たり純資産額

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間	第65期
会計期間	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 10月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日
売上高 (百万円)	89,348	87,699	30,951	31,496	116,826
経常利益 (百万円)	1,510	1,028	626	582	1,692
四半期(当期)純利益 (百万円)	669	472	303	310	580
純資産額 (百万円)	—	—	<u>13,457</u>	<u>13,368</u>	<u>13,397</u>
総資産額 (百万円)	—	—	<u>47,411</u>	<u>47,690</u>	<u>42,747</u>
1株当たり純資産額 (円)	—	—	<u>135.29</u>	<u>135.35</u>	<u>134.68</u>
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	6.74	4.76	3.06	3.15	5.83
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	<u>28.4</u>	<u>28.0</u>	<u>31.3</u>
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,879	3,040	—	—	4,583
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△597	△1,341	—	—	△489
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△3,674	△872	—	—	△4,186
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	—	1,227	1,353	527
従業員数 (名)	—	—	520	535	513

(訂正後)

回次	第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間	第65期
会計期間	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 10月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日
売上高 (百万円)	89,348	87,699	30,951	31,496	116,826
経常利益 (百万円)	1,510	1,028	626	582	1,692
四半期(当期)純利益 (百万円)	669	472	303	310	580
純資産額 (百万円)	—	—	<u>12,865</u>	<u>12,775</u>	<u>12,804</u>
総資産額 (百万円)	—	—	<u>46,819</u>	<u>47,098</u>	<u>42,155</u>
1株当たり純資産額 (円)	—	—	<u>129.33</u>	<u>129.35</u>	<u>128.72</u>
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	6.74	4.76	3.06	3.15	5.83
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	<u>27.5</u>	<u>27.1</u>	<u>30.4</u>
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,879	3,040	—	—	4,583
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△597	△1,341	—	—	△489
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△3,674	△872	—	—	△4,186
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	—	1,227	1,353	527
従業員数 (名)	—	—	520	535	513

第２ 【事業の状況】

４ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第３四半期連結会計期間末の財政状況を前期末と比べますと、総資産は販売数量増による受取手形及び売掛金の増加や有形固定資産の増加などにより、総資産としては49億4千2百万円増加して476億9千1百万円となりました。一方負債は、支払手形及び買掛金が54億4百万円増加したことなどから、49億7千1百万円増加して343億2千2百万円となりました。純資産は2千8百万円減少して、133億6千8百万円となりました。

(訂正後)

当第３四半期連結会計期間末の財政状況を前期末と比べますと、総資産は販売数量増による受取手形及び売掛金の増加や有形固定資産の増加などにより、総資産としては49億4千2百万円増加して470億9千8百万円となりました。一方負債は、支払手形及び買掛金が54億4百万円増加したことなどから、49億7千1百万円増加して343億2千2百万円となりました。純資産は2千8百万円減少して、127億7千5百万円となりました。

第5 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396	571
受取手形及び売掛金	※7 20,200	※7 18,854
商品及び製品	662	915
仕掛品	444	456
原材料及び貯蔵品	2,681	2,562
繰延税金資産	80	51
短期貸付金	571	282
その他	1,232	1,309
貸倒引当金	△38	△42
流動資産合計	27,231	24,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,167	2,060
機械装置及び運搬具（純額）	2,435	2,700
土地	3,992	2,911
建設仮勘定	248	77
その他（純額）	227	225
有形固定資産合計	※1 9,072	※1 7,974
無形固定資産		
その他	556	318
無形固定資産合計	556	318
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 3,349	※2 3,579
長期貸付金	2,495	3,399
長期未収入金	※3 4,685	※3 4,850
破産更生債権等	22	25
繰延税金資産	2,445	2,495
その他	538	572
貸倒引当金	※3 △2,707	※3 △5,429
投資その他の資産合計	10,829	9,493
固定資産合計	20,458	17,786
資産合計	47,690	42,747

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396	571
受取手形及び売掛金	※7 20,200	※7 18,854
商品及び製品	662	915
仕掛品	444	456
原材料及び貯蔵品	2,681	2,562
繰延税金資産	80	51
短期貸付金	571	282
その他	1,232	1,309
貸倒引当金	△38	△42
流動資産合計	27,231	24,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,167	2,060
機械装置及び運搬具（純額）	2,435	2,700
土地	3,992	2,911
建設仮勘定	248	77
その他（純額）	227	225
有形固定資産合計	※1 9,072	※1 7,974
無形固定資産		
その他	556	318
無形固定資産合計	556	318
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 3,349	※2 3,579
長期貸付金	2,495	3,399
長期未収入金	※3 4,685	※3 4,850
破産更生債権等	22	25
繰延税金資産	2,857	2,906
その他	538	572
貸倒引当金	※3 △3,711	※3 △6,433
投資その他の資産合計	10,237	8,900
固定資産合計	19,866	17,193
資産合計	47,098	42,155

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,492	10,087
短期借入金	6,170	6,748
未払法人税等	458	872
賞与引当金	163	339
その他	※2 3,204	※2 2,964
流動負債合計	25,489	21,013
固定負債		
長期借入金	7,046	6,851
退職給付引当金	1,210	1,194
役員退職慰労引当金	191	164
資産除去債務	266	—
その他	118	126
固定負債合計	8,832	8,337
負債合計	34,322	29,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,952	3,778
自己株式	△529	△458
株主資本合計	13,569	13,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△188	△103
繰延ヘッジ損益	△15	29
評価・換算差額等合計	△204	△74
少数株主持分	3	3
純資産合計	13,368	13,397
負債純資産合計	47,690	42,747

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,492	10,087
短期借入金	6,170	6,748
未払法人税等	458	872
賞与引当金	163	339
その他	※2 3,204	※2 2,964
流動負債合計	25,489	21,013
固定負債		
長期借入金	7,046	6,851
退職給付引当金	1,210	1,194
役員退職慰労引当金	191	164
資産除去債務	266	—
その他	118	126
固定負債合計	8,832	8,337
負債合計	34,322	29,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,359	3,186
自己株式	△529	△458
株主資本合計	12,977	12,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△188	△103
繰延ヘッジ損益	△15	29
評価・換算差額等合計	△204	△74
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,775	12,804
負債純資産合計	47,098	42,155

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、下記のとおりです。

(訂正前)

(単位：百万円)

科目	四半期連結 貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
(1) 受取手形及び売掛金	20,200	20,200	—	(注) 1
(2) 長期貸付金	2,891			(注) 2
長期未収入金	4,685			(注) 2
破産更生債権等	22			(注) 2
貸倒引当金	<u>△2,707</u>			
(2)小計	<u>4,892</u>	<u>4,892</u>	—	

(訂正後)

(単位：百万円)

科目	四半期連結 貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
(1) 受取手形及び売掛金	20,200	20,200	—	(注) 1
(2) 長期貸付金	2,891			(注) 2
長期未収入金	4,685			(注) 2
破産更生債権等	22			(注) 2
貸倒引当金	<u>△3,711</u>			
(2)小計	<u>3,888</u>	<u>3,888</u>	—	

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
<u>135.35円</u>	<u>134.68円</u>

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
<u>129.35円</u>	<u>128.72円</u>

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月13日

協 同 飼 料 株 式 会 社
取 締 役 会 御 中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 村 茂 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩 崎 剛 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている協同飼料株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、協同飼料株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月13日

協 同 飼 料 株 式 会 社
取 締 役 会 御 中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大 村 茂 ㊞
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 岩 崎 剛 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている協同飼料株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、協同飼料株式会社及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

1. 四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。
2. 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より資産除去債務に関する会計基準を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。